施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	2	安心して暮らせる支えあいのまち
基本施策 2		安心を支える健康づくりと保健・医療の充実
施 策 1	1	保健•医療

基本方針

だれもが生涯にわたり健康で暮らせるよう、自主的な健康づくりの取組みを支援します。また、必要な時に、質の高い医療が受けられるよう、地域の医療提供体制の充実を支援します。

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
妊婦健康診査および新生児訪問指導等の充実	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
発達支援体制の構築	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
災害時医療救護体制の構築	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
はむら健康の日・健康フェア等健康教育の実施	計画どおり完了	Α	Α	В	現状のまま継続
スポーツを通じた健康づくりの推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
妊娠・出産・子育で包括支援拠点の設置と運営	計画どおり完了	Α	Α	Α	レベルアップ

3 施策評価結果

施策11「保健・医療」では、6事業について評価を実施した。

進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

有効性(成果)については、「はむら健康の日・健康フェア等健康教育の実施」で参加者数が、計画数に届い ていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。

これらを踏まえた結果、施策11「保健・医療」については、有効性の観点で一部に改善を図る課題があるが、取組内容は順調に推移している。

今後の方向性については、「妊娠・出産・子育て包括支援拠点の設置と運営」は、新たに産後ケア事業や子育て相談カンファレンスを実施することなどに取り組んでいくこととし、その他の5事業については、引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。

亚出00年度	: 「甘士:」								
平成29年度 1.基本項目	【基本シート】	作成	部署	垣加	上健康 部		健康課		
1. 至平均日	事業名		叩 年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト		
00 妊婦健康語	参査および新生児訪問指導等の充実 変変なよび新生児 おります かんきょう かんきょう かんきょう かんきん かんりょう かんりゅう かんりょう かんりゅう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりゅう かんりゅう かんりょう かんりゅう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりゅう かんりょう かんり	,,,,,,,,	28 年		自治事務	業務委託(一部)	0		
01			年						
02			年						
03			年						
04			年						
05			年						
関連課						•			
基本目標	2 安心して暮らせる支えあいのまち	施策	区分	11 保	健∙医療	重点事業No.	1		
2.事業の概									
	- "='`` 120女体时に、見ひ同い位別が入りつれるの人、他物の反別に反性的の九大で又ほしのす。								
事 す。また 内 容	_業 す。また、妊娠期から子育て期にかけての相談体制の充実を図ります。 内								
根拠法令	母子保健法								
条例		1-1-1-	± /= - 1		- 400		* * 16=*		
要綱等	羽村市産婦健康診査実施要綱、羽ホ	寸市妊疸	苼婦訪	問指導実施要	?緔、羽村市新	新生児訪問指	導実施要綱		

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画				
Piant音,画了	干风20千及(現流)	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	妊婦健康診査の実施 ・妊婦健康診査の検査項目の 追加(HIV、子宮頸がん)	同左	同左	同左		
事業内容 事業量等	ベ受診者 3,109人 平成28年11月末現在 ●新生児訪問指導 187件	延受診者 4,800人		同左 延受診者 4,800人 新生児訪問指導 230件		
	平成28年11月末現在	子育て包括支援拠点と連携 した相談体制の充実	同左	同左		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	12 H	1人	12 H	1人	12 H	1人	12 H
主事·主任職	2 人	80 H	2 人	100 H	2 人	100 H	2 人	100 H

②事業費

(于 不只				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	40,601	39,245	39,245	39,245
	人件費(係長職)	60	60	60	60
	人件費(主任・主事職)	544	680	680	680
総	事業費(合計)	41,205	39,985	39,985	39,985
	国庫支出金				
	都支出金	9,000	9,000		
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	32,205	30,985	39,985	39,985
財	源内訳(合計)	41,205	39,985	39,985	39,985

③コスト計算

ア 市民56,079人における1人あたりのコストは、イ 対象者5,485人における1人あたりのコストは、ウ 成果(物) 対象者の延べ受診数の 出来高 4,626 人 における1 人

713	円
7,290	円
のコストは	8,644 円

※ 対象者: 妊娠届出者数(H29見込·予算值)×14回

平成29年度 【事務事業評価	((事後)】	管理No 54
Do【実行】	1(学区/】	
5.実施結果		· - - -
□ 計画どおり完了□ 計 ①指示事項・改善	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) □ 遅延	中断
無有	指示事項·改善内容	
②活動実績		
	診査を受け、母体及び胎児の発育・健康状態を確認し 査受診票を交付し、公費負担を行った。	、安心して出産を迎
	統的な支援が必要なケースなど、健康課の保健師に	よる新生児訪問を実
施した。		
③投入実績 決算の内訳(単位:千円)	 予算額(当初) 補正·流用額 予算額(最終) ≥	央算額 執行率
事業費	39,245 ▲ 5,966 33,279	31,064 93.3%
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績	
	人数 概算時間 人数 概算時間	
係長職 主事·主任職	1 人 12 H 1 人 12 H 2 人 100 H	
④事業量(活動量)	<u> </u>	
実施計画	今年度実	
〇妊婦健康診査の実施 延べ受		
〇新生児訪問指導の実施 230	件	3221+
Check(評価) 6.事業の評価 S…より適切 項目		、改善が必要なもの
妥 [○] ☑ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ☐ 今の社会情勢に見合う事業 性 ☐ その他 ()を達成する為に必要な事業である 美である	A
対 ○ ☑ 最少の人件費・事業費で事本 法 □ 業務の進め方や手続きを管		Α
性 💛 🗌 その他 ()
有 🦳 🗌 計画の事業量に達しなかった	た 🗸 計画の事業量に達した 🗌 計画以上の事業量を達成し	した
対 果 ② 事業の目標が達成された	□ 事業の効果が表れている	
性 一 施策の基本方針推進する	2 212 2 2 2 11 11 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
7.「施策の基本方針」に対する本	K 事業の評価 理のためには、妊婦健康診査は必要不可欠であり、子	- 斉て知談押レ浦惟
	使のためには、妊婦健康診査は必要が可欠であり、予 東診査の必要性を周知し、受診率の向上に努めた。	月で旧談林と建協
また、新生児訪問指導のうち、特	⊧に支援が必要な家庭への訪問ケースについて、健康	課の保健師が訪問
し、子育て相談課と連携した支持	覚に努めた。	
Action【改善】		
8.今後の方向性		
□ 現状のまま継続 □ レベル	レアップ □□縮小 □□実施主体の見直し □□休止	∵廃止 □完了
【改善点】 妊婦健診の「C型肝炎検査」は 康診査の望ましい基準」に示され	、現在2回目以降に実施しているが、平成30年度から いている1回目に変更する。	国の「妊婦に対する健
【今後の取組方針】		
	出時などに、妊婦健診及び新生児訪問の重要性につ に努めていく。	いて引き続き周知を

平成30年度								
<u>1.基本項目</u>			部署		上健康 部		健康課	
	事業名	開始	年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 発達支援体	本制の構築	平成	28 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	0	
01 発達健	康診査	平成	28 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	0	
02 3~4 <i>t</i>	v月児健康診査 	平成	28 年	継続	自治事務	直営	0	
03 1歳6た	v月児健康診査 	平成	28 年	継続	自治事務	直営	0	
04			年					
05			年					
関連課	障害福祉課、子育て支援課、教育	育支援	課					
基本目標	2 安心して暮らせる支えあいのまち	施策	区分	11 保	健・医療	重点事業No.	2	
2.事業の概	要							
施策の 基本方針	だれもが生涯にわたり健康で暮らせるよう、自主的な健康づくりの取組みを支援します。また、 施策の 必要な時に、質の高い医療が受けられるよう、地域の医療提供体制の充実を支援します。							
	業 が連携し、組織横断的な体制を構築します。 内							
根拠法令	母子保健法							
条例								
要綱等					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>		

3 実施計画

3. 关心前回	亚世00年度(理识)	3か年計画						
Plan【計画】	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
	討会議の実施 10回	発達支援体制の構築 担当者連絡会	同左	同左				
	発達健診の実施 年12回	発達健診の実施 年12回	同左 年12回	同左 年12回				
事業内容 事業量等	延受診者数 61人	3~4か月児健診における心 理相談の開設 年12回	同左 年12回	同左 年12回				
子 木至寸	1歳6か月児健診心理継続相談 の実施 年12回 延受診者数 55人	1歳6か月児健診心理継続 相談の実施 年18回	同左 年18回	同左 年18回				
		就学期における教育相談員 との連携	同左	同左				

| 4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年閏業致時間(人性毒の日安) 「事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

1 /2/2	29年度 概算時間	平 人数	成30年度 概算時間	平 人数	成31年度 概算時間
人数 相	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
	1,70 / 1 7 1 7 1	· \2	190 7 P1 I P1	/\ %	
1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H
3 人	400 H	3 人	400 H	3 人	400 H
	3 人	. , ,	. , ,		

	事 耒賀				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	11,127	11,166	11,166	11,166
	人件費(係長職)	398	498	498	498
	人件費(主任・主事職)	3,060	4,079	4,079	4,079
総	事業費(合計)	14,585	15,743	15,743	15,743
	国庫支出金				
	都支出金	2,323	2,700	2,700	2,700
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	12,262	13,043	13,043	13,043
財	源内訳(合計)	14,585	15,743	15,743	15,743

<u>③コスト計算</u>

/ + / + 	
イ 対象者 4,963 人における1人あたりのコストは、 3,172	图
ウ 成果(物) の 出来高 人 における1 人 のコストは	[

※ 対象者: 0~19歳の市民

平成29年度 【	事務事業評価	(事後)】						管理No	55
Do【実行】 5.実施結果									
3.実施和来 レ 計画どおり完了	一 計i	画を見直し完了(次年度.	以降計	画を見	直す)	遅延	中断	τ
①指示事項·改善									
無有			指:	示事項·	·改善内	容			
②活動実績									
平成29年度から									
続相談を12回から関係各課とのプロ・た、就学に関する	ジェクトチーム	検討会議を4回開	催し、そ	その他、	関係	課と個別に	会議を		
③投入実績			T-8	1	- w				11./
	ī:千円)		補正・流		予算	<u> </u>	_	算額	執行率
事業費		11,166		0		11,160	0	11,029	98.8%
年間業務時間(人	件費の目安)	当初計画 人数 概算時間	人数	実績概算	中門				
			H 1人		00 H				
主事·主任職			H 3 人		00 H				
④事業量(活動量)								-	
	実施計画						丰度実 績		
〇発達支援体制の相 〇担当者連絡会	構築					、チーム検討)連絡会議		開催 4回	
〇発達健診の実施	年12回		\Rightarrow)実施 年1:			
〇3~4か月児健診の	の心理相談の開			O3~4	4か月り	見健診の心 3	理相談の		
〇1歳6か月児健診道 〇就学期における教						記健診心理線 る連携会議			E18回
〇州十州に307の分	何伯級負との足	£1 <i>7</i> 5		○州→	-I〜 大 7	の圧IS五時	成りが旧	2년	
Check【評価】									
6. 事業の評価 項目	S…より適切	<u>なもの A…適</u>	<u>切なもの</u>	<u> </u>	B…鹊	<u> 関があり</u>	<u>、今後、</u>		要なもの 長評価
	(甘木日堙,恢笙)	 を達成する為に必要:	ト車業では					- 一	
2.1	、金本ロ標・池水/ 情勢に見合う事業		aਝжса 者∙対象マ	_	で(雲要)) がある			Λ
一	旧务に元百万千木		ואני		· · · · · · ·	773 007 00			
<u> </u>	W # ** #**	マケレッナ・ノー・ナー・フィ・フ			D 88 22	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Z1.7)	
手 一		務が執行されている 略化・簡素化している			大 间况	も力を活用して	といる		Λ
举 法 □ *********************************	の力や士統さを間	哈化・間系化している							\boldsymbol{A}
性 〜 □ その他 ()	
1., 略[二	業量に達しなかった				計画以	以上の事業量	を達成した		A
効 果 □ 事業の目	標が達成された	✓ 事業の効果	いまれて	いる					\mathbf{A}
-		えで具体的な成果が	あった						
7.「施策の基本方法				± 0 <i>l</i> . F	7 ID /7±1	=人!- よいしつ	У № ТШ АЫ И	/±±□=// △	
3~4か月児健診び発達健診により									
行った。また、切れ									
べき課題や方向性									
Action【改善】									
8.今後の方向性	± 📶 🔊	→ →	=] 	- #- Φ		1 /+ .L	க்.ட்	□ ⇔っ
レ 現状のまま継糸	売 レベル	アップ	1,	夫他コ	ヒ1本の	見直し	」	廃止	完了
【改善点】									
	•								
【今後の取組方針】 健診を通して親の		その発達の遅れ.	パル・エコー	わるせ	-(- 5) 1	促健師	生に ト2	く継続した	古坪た行
うことで、疾病の早									

については引き続き、体制の強化、課題の解決、状況の相互共有を図るため継続して実施していく。

平成29年度 【基本シート】												
1.基本項目	作成			上健康 部		健康課						
事業名	開始	年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト						
00 災害時医療救護体制の構築	平成	28 年	継続	自治事務	直営	0						
01		年										
02		年										
03		年										
04		年										
05		年										
関連課 危機管理課、防災安全課												
基本目標 2 安心して暮らせる支えあいのまち	施策	区分	11 保	健•医療	重点事業No.	3						
2.事業の概要												
だれもが生涯にわたり健康で暮らせん 施策の 基本方針 必要な時に、質の高い医療が受けら												
事 災害時に医療救護活動が円滑に行えるよう、関係機関との連携会議を開催し、災害時医療救護体制 の構築を図ります。 内容												
根拠法令 災害対策基本法			<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>						
条例												
要綱等 羽村市地域防災計画												
o 마바리프												

3.実施計画

Plan(計画)	平成28年度(現況)	3か年計画						
	十八20十尺(坑)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
	西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議及び羽村市医師会等との連携及び推進	同左	同左	同左				
事業内容 事業量等	災害薬事コーディネーター、薬 品卸売業者との連携体制や災 害時医薬品の整備に関する検 討及び推進	※事業を検討する中で、事	災害時医薬品等の整備					
	バルーン投光機の設置	診療器材等の整備						
		医療機関等との通信手段の 検討及び推進 ※事業を検 討する中で、事業費を算出	同左	同左				

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

 (事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間)

 平成28年度(現況)
 平成29年度
 平成30年度
 平成31年度

 人数
 概算時間
 人数
 概算時間
 人数
 概算時間

 ①年間業務時間(人件費の目安) 職層・職種別 係長職 2 人 1 人 120 H 2 人 120 H 2 人 120 H 2 人 120 H 12 H 1 人 12 H 1 人 1人 12 H 12 H

主事·主任職 ②事業費

$\overline{}$, -1-2-				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	349	103	-	1
	人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	1,194
	人件費(主任・主事職)	41	41	41	41
総	事業費(合計)	1,584	1,338	1,235	1,235
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	1,584	1,338	1,235	1,235
財	源内訳(合計)	1,584	1,338	1,235	1,235

③コスト計算

ア	市民	56,079	人に	ニおける1	人あたりの:	コストは、
1	対象者	56,079	人に	おける1	人あたりの:	コストは、
ゥ	成果(物)		の	出来高		

24	lH.
24	円
のコストは	m m

※ 対象者: 市民

平成29年度 【事務事業評価	5(事後)】	■ 管理No 56
Do【実行】	· · · · · · · ·	
5.実施結果 レ 計画どおり完了	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 🔲 遅延	上 中断
①指示事項・改善		
無 有	指示事項·改善内容	
西多摩保健医療圏地域災害医	療連携会議福生ブロック会議を3回、西多摩全体会認	
ター部会1回及び羽村市医師会管 JMAT研修などに参加した。	等との会議を2回開催したほか、災害医療コーディネー	−ター研修、東京
	開設訓練の実施及び救護所における診療器材等を購	入した。
③投入実績	又佐姑/火切\ **********************************	油 <i>生</i> 炉
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 補正·流用額 予算額(最終) 103 0 103	決算額 執行率 100 97.1%
1	当初計画 実績	
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間 人数 概算時間	
係長職 主事·主任職	2 人 120 H 2 人 120 H 1 人 12 H	
④事業量(活動量)		
実施計画	今年度9	
〇西多摩保健医療圏地域災害 び羽村市医師会等との連携及び	が推進 の会議2回開催	四及ひ巾医師芸寺と
〇災害時医薬品の整備に関する	る検討 〇災害薬事センター部会10	
○診療器材等の整備 ○医療機関等との通信手段の検	○市避難所医療救護所用記 会討 ○福生病院との移動系無線	
○区域版例寺との通信子段の機	(日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	KICよる世間訓練大旭
Check【評価】		·
6.事業の評価 S…より適切	lなもの A…適切なもの B…課題があり、今後	
6.事業の評価 S…より適切 項目		後、改善が必要なもの 課長評価
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 必 ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ○ 今の社会情勢に見合う事業)を達成する為に必要な事業である	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 û マ い 」上位施策(基本目標・施策))を達成する為に必要な事業である	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 必 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 世 ☐ その他 (効 ○ ☑ 最少の人件費・事業費で事)を達成する為に必要な事業である 能である	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ☐ 今の社会情勢に見合う事業 性 ☐ その他 ()を達成する為に必要な事業である きである	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ☐ 今の社会情勢に見合う事業 性 ☐ その他 (効 ← ✓ 最少の人件費・事業費で事)を達成する為に必要な事業である きである	
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ☐ 今の社会情勢に見合う事業 性 ☐ その他 (効 手)を達成する為に必要な事業である 美である	課長評価 A A
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 使性 ☐ その他(効 〔 最少の人件費・事業費で事 率 法 ☐ その他(有 ☐ 計画の事業量に達しなかった 効 果 ☑ 事業の目標が達成された)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A A
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効 要 ☐ 表の他 (効 素務の進め方や手続きを簡性 ☐ その他 (有 成 ☐ 計画の事業量に達しなかった 事業の目標が達成された 性 ☐ 施策の基本方針推進するう)を達成する為に必要な事業である 達である	課長評価 A A
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効 要 ☐ 業務の進め方や手続きを簡性 ☐ その他 (有 成 ☐ 計画の事業量に達しなかった 事業の目標が達成された 性 ☐ 施策の基本方針推進するう 7.「施策の基本方針」に対する本)を達成する為に必要な事業である 達である	課長評価 A A はた A
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A A A CHE 原教護体制の構
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効 要 性 ☐ その他 (効 率)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A A A CHE 原教護体制の構
6.事業の評価 S…より適切項目 妥 ② 上位施策(基本目標・施策) 当性 ② 会の社会情勢に見合う事業性 ② 最少の人件費・事業費で事業務の進め方や手続きを簡性 ③ 計画の事業量に達しなかった。 ③ 計画の事業量に達しなかった。 ※ 事業の目標が達成された ② 事業の目標が達成された ② 事業の基本方針推進するうで、施策の基本方針に対する本 災害時に医療救護活動が円滑築に取り組んでいるが、羽村市のがあり、意思決定に時間を要して)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A A A CHE 原教護体制の構
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である まである	課長評価 A) A おければ、 はた A おければ、 はた
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A) A おければ、 はた
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A) A おければ、 はた
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A) A おければ、 はた A おければ、 はた
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価 A) A おければ、 はた A おければ、 はた
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である きである	課長評価

	平成29年度 【基本シート】											
		9年度 項目		【基本シート】	作品	部署	拉丁丸	上健康 部		健康課		
屵	<u>李</u> 华	、坦口				年度	実施期間	┗ 度原 可 ■ 事業種別	運営手法	プロジェクト		
00	はも	いら健康	東のⅠ	日・健康フェア等健康教育の実施		18 年	継続		業務委託(一部)	0		
	01					年						
	02					年						
	03					年						
	04					年						
	05					年						
	関連	・ は は は は は は は は は は は は は は は は は は は										
		目標	2	安心して暮らせる支えあいのる	まち 施策	区分	11 保	健•医療	重点事業No.	4		
2.	事業	の概										
	施策 <i>0</i> 本方	り一般		が生涯にわたり健康で暮らな時に、質の高い医療が受								
事業内容	<u>ا</u> = 7			£進員や関係団体などと連打 ○健康づくりの普及啓発を抗			の意識向上	を図るイベン	ントや講座を	開催し、こ		
	拠沒	5令										
	例			11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		, <u></u> .						
安	綱等	Ì	丬	村市健康増進計画 健康に	はむら21	第二	<u>欠)</u>					
3.	実施	計画	Ī									
	Pla	n【計	画	平成28年度(現況)	 -!			か年計画		- · 		
				「はむら健康の日」の実施	日左 同左	,29年/	~	·成30年度		31年度		
	-	業内		「健康フェア」の実施 「健康フェア」の実施 ●はむら健康の日 1回 参加者2,630人	1回 3,200丿		同左 1回 3,2	200人	同左 1回 3,200丿			
		業量	等	●健康フェア 1回 参加者1,884人	1回 3,200丿		1回 3,2	200人	1回 3,200丿			
4.	投入	、指標	(成:	果の達成、及び活動するた	めに投入	する 資	₹源【ヒト・モノ	ノ・カネ 】)				

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画						
	十八20十尺(况况)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
事業内容	「健康フェア」の実施 ●はむら健康の日	同左 1回 3,200人	同左 1回 3,200人	同左 1回 3,200人				
事業内谷事業量等	1回 参加者2,630人 ●健康フェア 1回 参加者1,884人	1回 3,200人	1回 3,200人	1回 3,200人				

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

①午间未物時间(八斤頁の百叉) 【事物執门に安する八数と「八当たりの午间未物時间】									
職層・職種別	平成2	8年度(現況)	平	成29年度	平月	成30年度	平月	成31年度	
₩ 間 ・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	2 人	30 H	2 人	30 H	2 人	30 H	2 人	30 H	
主事•主任職	2 人	400 H	2 人	400 H	2 人	400 H	2 人	400 H	

②事業費

	于不良				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	1,445	1,404	1,404	1,404
	人件費(係長職)	299	299	299	299
	人件費(主任・主事職)	2,720	2,720	2,720	2,720
総	事業費(合計)	4,464	4,423	4,423	4,423
	国庫支出金				
	都支出金	827	776	776	776
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	3,637	3,647	3,647	3,647
財	源内訳(合計)	4,464	4,423	4,423	4,423

994 円

③コスト計算

56,079 人における1人あたりのコストは、 56,079 人における1人あたりのコストは、 延べ参加者 の 出来高 4,448 人 における1 人 ア 市民 イ 対象者 ウ 成果(物)

※ 対象者: 市民

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】				管理No	57		
Do(実行) 5.実施結果								
□ 計画どおり完了□ 計画□ 計画	画を見直し完了((次年度以降計	・画を見直す)		中断			
無有		指示事項	·改善内容					
②活動実績								
健康づくり推進員会議において ア」を実施した。 また、糖尿病及び、こころの健康				ら健康の日	3」、10月に「	健康フェ		
③投入実績		14 T 15 M 65	고 쓰 해/티	4h\ \+	- <i>fet</i> - fr	++ /= -		
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 1.404	補正・流用額	予算額(最	<u>終) </u>	·算額 1,372	<u>執行率</u> 97.7%		
	.,		1	1,404	1,372	97.7/0		
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 人数 概算時間		. 時間					
係長職		H 2人	30 H					
主事・主任職			100 H					
④事業量(活動量)					,_			
実施計画				今年度実				
〇「はむら健康の日」の実施 1回 〇「健康フェア」の実施 1回 3,2			むら健康のは康フェア」の			人		
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切 項目	なもの A…適	i切なもの	B…課題が	あり、今後.		要なもの 評価		
妥 [○] □ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 □ 今の社会情勢に見合う事業 性 □ その他 (な事業である 3者・対象者のニー	ズ(需要)がある			4		
効 (5	民間活力を活	用している)	4		
有 ○ ☑ 計画の事業量に達しなかった □ 計画の事業量に達した □ 計画以上の事業量を達成した								
7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価 健康づくり推進員との会議を重ね、市民目線での意見を取り入れ事業を実施している。								
Action【改善】 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 【改善点】	アップ 🌅縮	小 定應	主体の見直し	, □休止	•廃止 🔲	完了		
若い世代から健康づくりに関心する。	を持つことができ	きるよう啓発を	図るとともに、	事業内容	などについて	も検討		
【今後の取組方針】								
「自分の健康は自分で守る」とは 推進員の意見を取り入れながら		健康づくりに取	り組んでいた	こだけるよう	5、今後も健	東づくり		

	基本シート】									
1.基本項目	+ * 5			部署			健康部	1 V= 324		健康認
	事業名			年度	実施	期间	事業種別	運営	于 法	プロジェクト
00 スポーツを通じた優	健康づくりの推進		平成	23 年	継	続	自治事務(市独自)	直	営	\circ
01				年						
02				年						
03				 年				<u> </u>		
04				<u>'</u> 年				 		
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			年						
	-ツ推進課 **! ~ ま : ! :	-= tvo-	++ ++-* *	EZΛ	11	/0	<i>快</i> 医病	壬上司	E ₩N.	F
	ひして暮らせる 支	えんめいの	はち 他束	区分	11	1朱	健•医療	里只有	事業№.	5
2.事業の概要	生涯にわたり	健康で莫込	みおとう	白主	白わナこん	津事づ	くいの取組を	なを支	垤 丰	す また
施策の必要な時	エルにかたりにに、質の高い[
基本方針					_ ,, , ,					
市民の健康増進	進を図るととも	に、スポー	-ツによっ	て市国	相互	のふれ	あいや親闘	幸を深る	めるた	め、スポー
業∥ッを通じた健康										
内										
容										
根拠法令										
条例 要綱等										
女們守										
3.実施計画										
Plan(計画)	平成28年度	(現況)	<u>ਜ਼ ਦੇ</u>	-00/T	+		か年計画		- - - - - - - - - 	01 左 由
	健康づくり教室		一 半 沙 同左 1回20	.29年 <u>月</u>	<u></u>	同左 1	·成30年度 ^{回20人}	同力	<u>半水</u> 1回20	<u>31年度</u> 人
			,,,,,			.,			ш	
事業内容	10月 14人 11月 10人									
事業量等	12月 11人									
	健康・スポーツフォ		同左 1回	左 1回		同左 1回		同左 1回		
<u> </u> 4.投入指標(成果 <i>0</i> :	1回 3月18日 定員		めに払え	オスさ	≤消し €	·	/.カネ】			
①年間業務時間(人							当たりの年	間業利	条時間]
職層∙職		平成28年	度(現況)	平	成29年	-度	平成30年	F度	平月	成31年度
	生力!		算時間	人数	概算			時間	人数	概算時間
係長職 主事・主任職		3 人	24 H 108 H			16 H 08 H	3 人 1	16 H 08 H	1人3人	30 H 120 H
②事業費		3 八	100 円	3 人	<u>'</u>	00 П	3 八	00 П	3 人	120
	位:千円)	平成28年	度(現況)	平	成29年	-度	平成30年		平月	或31年度
事業費			113			113		113		6:
人件費(係長職 人件費(主任・主			120 1,102			80		80 1,102		150
総事業費(合計)	二争 戦 /		1,102			1,102 1,295		1,102		1,22 ⁴
国庫支出金			1,000			1,200		1,200		1,11
都支出金			25			25		25		1:
受益者負担額	_		10			10		10		10
その他特定財派										
│ │一般会計繰入会 │ │起債	<u>IZ</u>									
一般財源(人件	費含む)		1,300			1,260		1,260		1,41
財源内訳(合計)			1,335			1,295		1,295		1,44
③コスト計算				_		-				
ア市民	56,079 人					<u> </u>		23円		
イ 対象者	56,079 人					_{⋜ 1} <mark>└</mark>	M-71	23 円		37,000 P
ウ 成果(物)	参加者数の	出来高	35 /	人 に	おける	אוע	のコスト	الم 🖳		37,000 P

37,000 円

ウ 成果(物) ※ 対象者: 市民

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】				管理No	58
Do【実行】 5.実施結果						
	画を見直し完了(え	欠年度以降計	画を見直す		正 一中断	†
①指示事項・改善		化二亩石	九羊山南			
無有		指示事項·	'以吾內谷			
②活動実績						
初心者向け美BODY教室を6/9				/13~11/	′17に開催しる	正べ160人
の参加があった。また、健康・スァ	ドーツフォーラムを	と「凹開惟した	0			
③投入実績	→ 65 AT (11 1=)		7 M 47/8	<i>th</i> \	_ <i>bb</i> b	+1 /= -
決算の内訳(単位:千円) 事業費	予算額(当初) 7 113	補正・流用額	予算額(最	(終) (113 (113 (113 (113 (113 (113 (113 (11	決算額 63	執行率 55.8%
	当初計画	実績		110	00	00.070
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間	人数 概算				
係長職 主事·主任職			16 H 08 H			
④事業量(活動量)	100 1		00 11			
実施計画				今年度実		
〇健康づくり教室 1回 20人 〇健康・スポーツフォーラム 1回			゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙			
○健康・ベルーフフォーフム「固		しほり	ド・ヘハーフ.	77 — 74	, 1번	
Check【評価】						
6.事業の評価 S…より適切 項目	<u>なもの A…適</u>	切なもの	B…課題が	<u>あり、今後</u>	後、改善が必 - 世 : 理 : 1	要 <u>なもの</u> 長評価
妥 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		 :事業である			[本]	<u> </u>
当 要 今の社会情勢に見合つ事業		・チネミのの 者・対象者のニース	で(需要)がある			Δ
T t)	•
効 ☆ ☑ 最少の人件費・事業費で事	務が執行されている		民間活力を活	用している		A
本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	略化・簡素化している					4
性 〜 □ その他 ()	_
有 へ 計画の事業量に達しなかった	_		計画以上の事	業量を達成	した	^
幼 果 □ 事業の日標が達成された	□✓□ 事業の効果					4
性 〜		うった				
スポーツ推進課と連携した本事		の推進に役立	っており、市	5民ニーズ	を把握しつつ)効果的
に事業を展開している。						
Action【改善】						
8.今後の方向性						a
	アップ	、 	E体の見直し	∠ ∐ 休山	L·廃止 L·	完了
【改善点】 健康づくり教室を初心者にも参	加しわすいように	宝体1 2回日	ニュテップ	アップ編を	行うことで継	結性を持
たせた。	70'A 71C			ノノ州門	コラーに てが色	1961工 G 1寸
【 「今後の取組方針】						
健康づくり教室は、参加者の反						
健康・スポーツフォーラムは、健	康づくりに役立っ	知識を分かり	やすく習得	できるよう	スポーツ推進	は課と十

分に調整を図り実施していく。

च	 	00年由		【基本	S. L	1								
		29年度 		【本本	ンート	.1			作成	部署	ユ どま	家庭 部	子	育て相談課
<u> </u>	<u> 华</u> ^			事	業名					年度	実施期間	事業種別		プロジェクト
•					平成	28 年	継続	自治事務	直営	0				
	01 総合的相談支援					平成	29 年	継続	自治事務	直営	0			
	02	母子手					平成	29 年	継続	自治事務	直営	0		
	03	育児パ					平成	29 年	継続	自治事務	直営	0		
	04	必要に応じて支援プランの作成				平成	29 年	継続	自治事務	直営	0			
	05						年							
	関	連課	健原	康課、	な育さ かんしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	を援課	Į							
基	本	目標	2	安心し	て暮ら	せる支	えあいの	まち	施策	区分	11 保	健•医療	重点事業No.	6
2.	事美	美の概.												
だれもが生涯にわたり健康で暮らせるよう、自主的な健康づくりの取組みを支援します。また、 施策の 基本方針 必要な時に、質の高い医療が受けられるよう、地域の医療提供体制の充実を支援します。														
事業内容	内													
		去令	子。	ビも・子	育て	支援》	<u></u>					_	_	_
条														
要	綱	等	羽ネ	时市利	用者:	支援署	阝業実施	要級	d					

3.実施計画

Plan(計画)	平成28年度(現況)	3か年計画						
	十八20十尺(纪元)	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
	健康課と子育て支援課と連絡 調整会議 6回		同左	同左				
事業内容 事業量等		母子手帳交付時全数面接 400件	同左 400件	同左 400件				
		育児パッケージ配布 400件 H28年度妊娠届出の経過措 置分 400件	同左 400件	同左 400件				
		支援プランの作成 120件	同左 120件	同左 120件				
		子育て支援サービス等の情 報提供と利用支援	同左	同左				
		施設整備の検討	同左	同左				

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別 人数		1 1/1/1				平成31年度	
八级	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職 1人	25 H	1人	1,620 H	1人	1,620 H	1人	1,620 H
主事・主任職 人	H	2 人	3,240 H	2 人	3,240 H	2 人	3,240 H

②事業費 事業費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成30年度 平成29年度 平成31年度 11,490 4,181 4,181 人件費(係長職) 125 8,060 8,060 8,060 人件費(主任·主事職) 総事業費(合計) 22,026 22,026 22,026 125 41,576 34,267 34,267 国庫支出金 1,268 193 193 都支出金 6,621 3,982 3,982 受益者負担額 その他特定財源 一般会計繰入金 起債 一般財源(人件費含む) 125 33,687 30,092 30,092 財源内訳(合計) 125 41,576 34,267 34,267

③コスト計算

ア	市民	56,079	人に	おける1	人あたりの:	コストは、
1	対象者		人に	おける1	人あたりの:	コストは、
ウ	成果(物)		の	出来高		

741	円
	円
のコストは	円

※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	i(事後)】				管理No	59
Do(実行) 5.実施結果						
	画を見直し完了(次年度以降計	一画を見直す)	遅延	中断	:
無有		指示事項	•改善内容			
子育で支援が	拖策の充実 。					
②活動実績	517+101. 5	「¬¬ →° //⊥	7.º \. → FI	9-0.1 1.1.00	12+5=	* & [[]
平成29年度から、子育て世代行子保健型」を相談係(保健センタ						
妊娠・出産期から子育て期まで(のさまざまなニース	ぐに対して、切				
め、妊娠・出産・子育て包括支援	拠点として運営し	た。				
③投入実績		建工 法田姑	マケ奶/目	6 夕〉 こ 1	答 奶	共气壶
決算の内訳(単位:円) 事業費	予算額(当初) 11,490	補正·流用額 864		於) 2,354	·算額 11,079	<u>執行率</u> 89.7%
	当初計画	実績	<u> </u>	-,001	, . , .	30.770
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間	人数概算	時間			
係長職 主事・主任職			20 H 20 H			
(4)事業量(活動量)	2人 3,240	口 1 人 1,0	12U H			
実施計画				今年度実績	漬	
〇総合的相談支援			合的相談支援			
○母子手帳交付時妊婦面接 40 ○育児パッケージ配布 400件	00件		子手帳交付間 見パッケージ			
〇H28妊娠届出経過措置分 40	0件		8妊娠届出経			
〇支援プランの作成 120件			爰プランの作			
Check【評価】 S…より適切	なもの A…滴:	切なもの	B…課題が	あり、今後、	改善が必	要なもの
項目	7. 20	77 0 0 0 0		777		長評価
妥 № ☑ 上位施策(基本目標・施策	を達成する為に必要な	3事業である				A
当 要 ✓」今の社会情勢に見合う事業	きである	者・対象者のニー	ズ(需要)がある			4
性 ['] □ その他 ()	_
効 🥎 🗸 最少の人件費・事業費で事	務が執行されている		民間活力を活	用している		
手 業務の進め方や手続きを簡性 ~	略化・簡素化している					4
有 つ 計画の事業量に達しなかった	と	<u></u> 量に達した	計画以上の事	 業量を達成し	た	_
効果 事業の目標が達成された	_	 が表れている				Δ
性 ○ □ 施策の基本方針推進する	えで具体的な成果があ	あった				
7.「施策の基本方針」に対する本						
妊娠届受理時の妊婦との面接 健康づくりに、一定の効果を発揮			バん検診等の	案内を実施	重することで	、妊婦の
健康 プングラン 一足の効果を光性	はしていると方える	0				
						
Action【改善】 8.今後の方向性						
現状のまま継続 レベル	レアップ 🔲 縮力	実施	主体の見直し	<i>,</i> 🔲 休止・	·廃止	完了
 【改善点】						
妊娠期の支援に加えて、産後の		要と考える。	また、さらにえ	を援の充実	を図るため	、関係機
関の連携の体制を強化する必要	これ、める。					
【今後の取組方針】	レナルー・安後に吐い	- 不空 + ++	何にかの士	でおりまし	当能スキフ	ロフに共
現状の事業内容を継続すると し、産後ケア事業を実施していく						

めの、子育て相談カンファレンスを、医師を交えて実施する。